

公表

## 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 ステラ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・同じ法人内のこども園が訪問先施設の1つになっており、クラス担任との連携が図りやすい環境である。	・普段からクラスとのやりとりは大切にしており、情報交換をしやすい環境をつくるようにしている。	・クラス担任(主担任)との話をする時間を定期的につくり、クラスの困りごとや子ども支援について、より密に情報の共有を行っていききたい。
2	・児童発達支援の利用者のほとんどが保育所訪問等支援も一緒に利用しており、児童発達支援での療育の様子や支援の方法をクラス運営にもいかすことができる。	・クラスでの困りごと等も出していただくだけでなく、児童発達支援での支援方法等もお伝えしている。	・園とのやり取りをより密に行うことで、クラスでの支援と事業所での支援の双方にとって意味のあるものにし、日々の支援にいかしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援員としての経験が浅い。	・今年度始まった事業であるため、訪問先との連携の図り方など、手探りでスタートしたところが大きい。	・今年度取り組んできた中でベースはできてきているため、訪問支援員としての今年度の経験を次年度にいかしていく。クラスとの情報共有を密にしていくと共に、研修やガイドラインの再確認など、支援員としてのスキルアップを図っていく。
2	・1人の訪問支援員が抱える子どもの人数が多い	・保育所等訪問支援専従の職員ではないこと、年度途中から訪問支援を希望される方が増えたことも大きい。	・次年度も訪問支援を希望している方がいるため、利用する児童が今年度よりも増えていくことが予想されるため、訪問支援員の増加など、職員体制も検討していきたい。
3			